

清流



平成30年11月 2日 文責 石丸 慎也

“地域教育ネットワーク連絡協議会”がありました

川上小学校には「川上っ子地域教育ネットワーク連絡協議会」という組織があります。平成17年度に、それまで単独で学校教育にかかわっていただいていた川上地区の団体様や個人様をひとつの集合体としてまとめ、ネットワーク化を図ったことで、子ども達が教育活動に取り組む際の手がかりや学習の充実を図るための拠り所として大きな存在となりました。具体的な場面として主に低学年の生活科、中学年及び高学年の社会科や総合的な学習の時間など、子ども達の学びの上での大きな支えとなっています。

先日、ご助言をいただいている地域役員の皆様にお集まりいただきました。当日は今年度の「総合的な学習の時間 佐賀県大会」で発表を予定している本校の取り組みについて、パソコンを使ってプレゼンテーションを行いました。内容は、前年度から今年度までの本校の3年生以上の実践を紹介したものです。地域とかわり、地域の力を支えに、地域の現在や将来等についてまとめたものです。例えば地域施設の良さの紹介（3年）、米作り農家の工夫や米の流通を知ること（4年）、地域を巻き込んだ花壇づくりの実践（5年）、そして歴史調査等を通した川上の将来像（6年）について学んでいます。

年間を通した地域の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。どうぞこれからも子ども達の学びを温かく支えてください。



【↑連絡協議会のようす↓】



安全面でのお願い ～ 登校時の車での送り

少しだけ肌寒く感じる季節となり、特に登校時は家族の方がお子様を車で送られているようすをよく見かけるようになりました。校門に立っていると、子ども達の登校と車の進入や出車が重なり危険を感じる事がよくあります。特に危険だと感じるのは登校する子ども達が狭い北門付近を歩いていて、そこにお子様を送り終え

て学校から出て行こうとする車と、道路から学校へ進入してくる車のタイミングが重なる場面です。「歩行者の安全優先」というのが交通ルールの基本ですから、この点については車を運転する者の責任としてしっかりと意識しておきたいものです。運転されていた保護者の中に携帯を手にして電話をしながら運転している方がおられたのを見かけたこともあります。

「児童の安全確保」という視点から保護者の皆様をお願いしたい点がいくつかあります。何らかの理由があり、やむを得ずお子様を車で送らなければならない場合もあると思います。その場合は、以下のことについてぜひご協力をお願いします。

- 1 子どもの登下校は徒歩を原則とする。
- 2 病気やけが等の理由でやむを得ず校内に車を進入させる場合は、必ず徐行して進入し、降車後、安全に配慮しながらゆるやかに出車する。
- 3 お子様の降車については、駐車場の東側など、登校している子ども達からできる限り距離をおいた場所で行う。

登校時、子ども達は友だちとコミュニケーションをとりながら楽しそうに登校しています。交通安全感覚を身につけ、また友だちとのふれあいや季節のようすを肌で感じ、さらに体力を身につけるということから、子ども達には歩いて登校することをおすすめします。

春が待ち遠しい！ ～ 就学時健康診断から



〈 待合コーナーで 〉

今週、来年4月に入学予定である園児らの健康診断がありました。今回健康診断を受けた園児は51名で、みんな元気そうな子ども達ばかりでした。全体説明の後、内科や歯科など、全部で5項目の診断コーナーを回りました。

今回の診断結果をもとに、望ましい生活習慣を身につけ、元気な体で入学してきてほしいと思います。待っています。



校長室から

出張から学校へ帰っていると下校中の子ども達とすれ違う。“喜んで登校、満足して下校”という言葉があるが、子ども達は登校時とはまた違った表情をしている。一日の学びを終え、ほっとした表情の子や友だちとワイワイ言いながらいっしょに帰っている子がいる。今日一日、また人としての“業（わざ）”を身につけたことだろう。